

城崎温泉交流センター基本計画検討会

～第1回資料～

2024年7月2日(火) 10:30～12:30

城崎地域における公共施設検討状況の振り返り

■【城崎・港地域】地域デザイン懇談会

2021年3月～2021年12月まで全6回開催

■豊岡市立城崎文芸館の利活用に係るサウンディング型市場調査

2022年2月実施 → 提案0件

■城崎地域における公共施設に係るサウンディング型市場調査

対象施設：城崎文芸館・麦わら細工伝承館・城崎健康福祉センター(旧城崎町給食センター跡)
2023年3月実施 → 提案5件

■城崎地域公共施設の在り方検討会

2023年6月から4回開催

■城崎温泉交流センター基本計画検討会

2024年7月から3～4回開催予定

城崎地域公共施設の在り方検討会について

城崎公共施設の在り方検討会とは？

目 標

城崎地域における公共施設の集約化を行い、地域・行政の負担を軽減

城崎のまちにとって有益で必要な公共施設とするために、本当に必要な『機能』を残し、賢く「施設」活用を行うことで、地域の方々の負担を掛けている現状を打破する。

目 的

城崎地域における公共施設の在り方をまちの方々と検討し、2025年度以降の方向性を検討する

検討会の位置づけ

2024年度以降の城崎地域における公共施設の市としての方向性を決定するための地域との合意の場

地域からの意見を幅広く取り入れ、検討した内容をもとに、市としての方向性を決定する。

検討会を開催した背景

- ・市全体として地域デザイン懇談会を開催するなど、公共施設のスリム化を行う将来像がある
- ・指定管理施設の経営において、指定管理者が費用負担を行いながら運営している状況がある。
- ・一部の指定管理施設の長寿命化工事が必要な状況であり、それを行うためには多くの費用が発生する（城崎温泉交流センターにおいては、屋根等の抜本的改修が必須である）

■対象となる5つの公共施設経営状況一覧

名称	城崎文芸館	城崎変わら細工伝承館	城崎温泉交流センター (さとの湯)	木屋町小路	城崎健康福祉センター
指定管理者	城崎温泉観光協会	城崎温泉観光協会	城崎町湯島財産区(城崎温泉課)	株湯のまち城崎	社会福祉法人豊岡市社会福祉協議会
竣工	1996年4月(築27年)	1921年3月(築102年)	2000年7月(築22年)	2008年7月(築14年)	1994年10月(築28年)
敷地面積	1,935.00㎡	339.26㎡	3,109.80㎡	1,051.04㎡	1,714.35㎡
延床面積	1,081.41㎡	77.27㎡	1,684.02㎡	700.17㎡	2,335.69㎡
現行の指定管理期間	2018～2022年度 →2年延長 2023年度～2024年度	2019～2023年度 →2年延長予定	2018～2022年度 →2年延長 2023年度～2024年度	2022～2026年度	2018～2022年度 →2年延長 2023年度～2024年度
指定管理料	2023～2024年度 3,300千円/年 2022年度 4,331千円/年 2021年度 4,000千円/年 2018～2020年度 5,000千円/年 2017年度 5,590千円/年	0円	0円	0円	2023～2024年度 5,091千円/年 2022年度 5,218千円/年 2020～2021年度 4,798千円/年 2019年度 4,760千円/年 2018年度 6,049千円/年 2017年度 15,580千円/年

●収支 ※指定管理者管理運営状況シート参照

(右記は2017～2022年度計)	¥-926,000	B ¥-1,659,000	C ¥-34,757,000	D ¥10,574,000	¥3,085,000
2022年度	¥-981,000	¥-521,000	¥-10,999,000	¥1,865,000	¥315,000
2021年度	¥-631,000	¥-604,000	¥-16,470,000	¥2,574,000	¥209,000
2020年度	¥607,000	¥-281,000	¥-21,597,000	¥1,749,000	¥54,000
2019年度	¥-24,000	¥-20,000	¥2,812,000	¥1,880,000	¥158,000
2018年度	¥-236,000	¥-214,000	¥4,069,000	¥581,000	¥477,000
2017年度	¥339,000	¥-19,000	¥7,428,000	¥1,925,000	¥1,872,000

※以下は指定管理料を差し引いた収支(対象は城崎文芸館、城崎健康福祉センターのみ)

	A ¥-29,847,000	E ¥-38,118,000
2022年度 指定管理料4,331千円	¥-5,312,000	¥-4,903,000
2021年度 指定管理料4,000千円	¥-4,631,000	¥-4,589,000
2020年度 指定管理料5,000千円	¥-4,393,000	¥-4,744,000
2019年度 指定管理料5,000千円	¥-5,024,000	¥-4,602,000
2018年度 指定管理料5,000千円	¥-5,236,000	¥-5,572,000
2017年度 指定管理料5,590千円	¥-5,251,000	¥-13,708,000

別途、市の収入および支出 (2017～2022年度計) ※指定管理料除く	¥-71,237,000	¥-1,375,000	¥-83,719,000	¥-116,000	¥690,000
--	--------------	-------------	--------------	-----------	----------

市の支出の多くは施設修繕に係る費用であり、6年間で約1.5億円

城崎公共施設の在り方検討会資料抜粋

2017年～2022年度の5施設の
収支計(A～E)は **-93,807千円**



平均すると、**-15,634千円/年**

指定管理者に負担を
掛けている施設が多い

市としても今後は長寿
命化工事等で施設維持
のためにはより多くの
投資が必要



城崎地域公共施設における機能集約の方向性

	現状	方向性
施設名	機能(ソフト)	機能(ソフト)
城崎温泉交流センター (さとの湯)	● ★商工会	● 複合施設化
城崎文芸館	●	↑ コンテンツをさとの湯へ統合
城崎麦わら細工伝承館	●	↑ コンテンツをさとの湯へ統合
木屋町小路	●	●
城崎健康福祉センター	● ★社協 ● 玄さん体操会場等	↓
旧城崎町給食センター (美術品所蔵庫)	●	→
城崎庁舎	●	● ★商工会 ● ★社協 ● 玄さん体操会場等 ●

建物(ハード)
再整備を検討
民間にて利活用(売却含む) ※今後検討
民間にて利活用(売却含む) ※今後検討
現状維持
民間にて利活用(売却を優先的に検討)
民間にて利活用(売却を優先的に検討)
商工会・社協受入れのための改装

浴場は「鴻の湯」程度の平屋建へ建替、採算がとれる施設へ

他施設へ移転

豊岡市公共施設個別施設計画での個別施設の方向性
長寿命化 【機能を維持】
展示機能の集約や統廃合、他施設との複合化など、施設のあり方を検討 使用不能と判断した段階で 建物は廃止し、機能移転を検討
城崎文芸館と同じ
長寿命化 【現在の配置・機能を維持】
施設機能を見直し、複合化・民間移管等を検討
—
長寿命化 【減築・多機能化検討】

城崎地域公共施設の今後の想定スケジュール(現時点の想定案)

北但震災復興100年

		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
城崎温泉交流センター (さとの湯) 【所管課：城崎地域振興課】	解体	実施設計 ※現在、市にて検討中	工事 ※現在、市にて検討中			リニューアル OPEN予定
	建築	基本計画	基本設計	実施設計	工事	

城崎文芸館	行程	指定管理期間 (指定管理料3,300千円)	指定管理継続にて調整中		休館予定 さとの湯へコンテンツ移管	さとの湯へ集約予定 ※建物の利活用は検討
-------	----	--------------------------	-------------	--	----------------------	-------------------------

城崎麦わら細工伝承館	行程	指定管理期間	指定管理期間	今後検討	休館予定 さとの湯へコンテンツ移管	さとの湯へ集約予定 ※建物の利活用は検討
------------	----	--------	--------	------	----------------------	-------------------------

城崎健康福祉センター	行程	測量・鑑定	プロポーザル	民間活用予定		
------------	----	-------	--------	--------	--	--

旧城崎町給食センター (美術品所蔵庫)	行程	測量・鑑定	プロポーザル	民間活用予定		
------------------------	----	-------	--------	--------	--	--

城崎庁舎	行程	実施設計・工事	社協(城崎)、商工会(城崎) 事務所受入予定			
------	----	---------	---------------------------	--	--	--

2025年1月までには受入体制構築見込み

城崎温泉交流センター基本計画検討会

城崎温泉交流センター基本計画検討会とは？

目 標

城崎地域公共施設における機能集約の方向性に沿った

城崎温泉交流センター(さとの湯)の基本計画の方向性を策定する。 ※本方向性をもとに市で基本計画を作成

< 城崎地域公共施設在り方検討会での方向性 >

城崎温泉交流センターを、城崎文芸館と麦わら細工伝承館の機能を集約して建替

※城崎文芸館と麦わら細工伝承館については、さとの湯の建替が完了次第の閉館を計画

目 的

城崎温泉交流センターの建替にあたって、

基本計画(基本的にはコンテンツの内容)を策定するための地域意見とりまとめ

< 建替後の状態 >

城崎温泉の玄関口であるJR城崎温泉駅前において、城崎が誇る温泉と文学そして、伝統工芸の麦わら細工を楽しんでいただける施設となり、さらなる賑わいの創出と収益性の改善されている

分科会：運営管理検討

指定管理者が長期的に安定した運営ができている状態を検討

- ・開催頻度は基本計画等の進捗状況により適宜開催を想定
- ・2024年度だけでなく、2025年度に跨いだ活動期間を検討

住民などのステークホルダー

まちの意見
(民業圧迫 等)

温泉供給者

城崎町湯島財産区の意見
(供給条例 等)

施設管理者

市の意見
(条例 等)

城崎温泉交流センター(さとの湯)基本計画検討内容の市の考え方

■検討会の進め方について

意匠(デザイン等)については、2025年度の基本設計の際に検討するため、今年度はあくまでコンテンツの検討
基本計画を検討しながら、併せて長期的な運営方法も分科会にて検討

■今までのさとの湯運営を振り返った中で、今後のために考えておきたい内容

維持費の増加(屋根の危険性や光熱費、保守点検費用等)

→ 今後の運用において、長期的な健全運営を維持することを考えることで、駅前にある玄関口のシンボルとしての役割を長期的に実現したい。

城崎温泉の玄関口としての考え方(イベント広場等)

→ JRからの借地であるイベント広場について、JRと一緒に考えていきたい(山陰本線の活用)

■施設集約化に伴って考えていきたい内容

城崎文芸館のコンテンツ展示
NPO法人本と温泉のコンテンツ
麦わら細工が体験できるスペース
麦わら細工の染色場

■その他

太陽光発電(脱炭素への取組み)
ユニバーサルデザイン など